

ベクトルとは



を \overrightarrow{AB} と書きます。

ベクトルとは

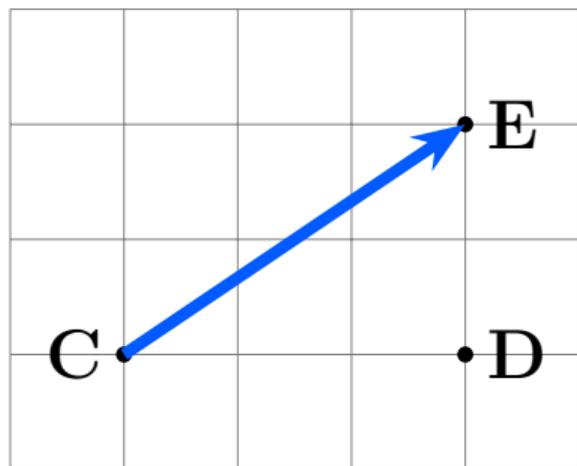


を \overrightarrow{AB} と書きます。

\overrightarrow{AB} の大きさ（長さ）を $|\overrightarrow{AB}|$ で表します。

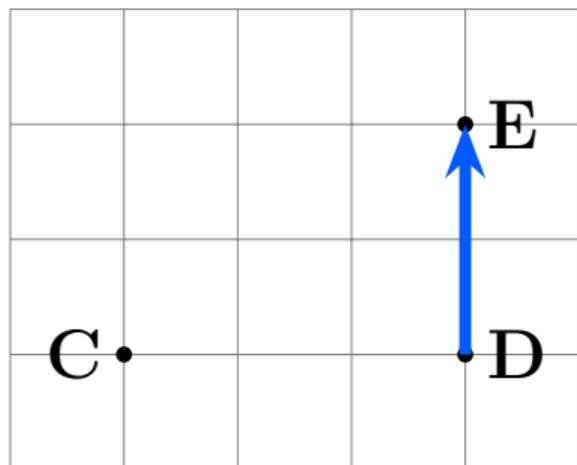
長さのほうに分かりやすいですが、ベクトルの学習をするときは**大きさ**という言い方をします。

ベクトルとは



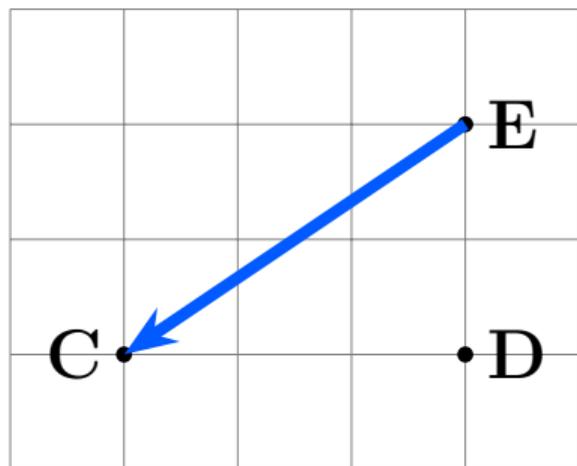
を \vec{CE} と書きます。

ベクトルとは



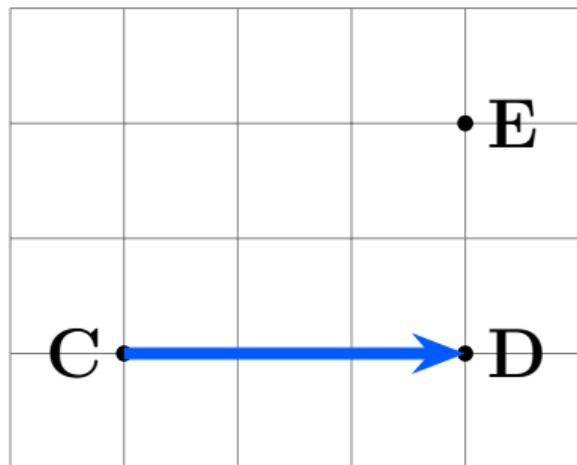
を \overrightarrow{DE} と書きます。

ベクトルとは



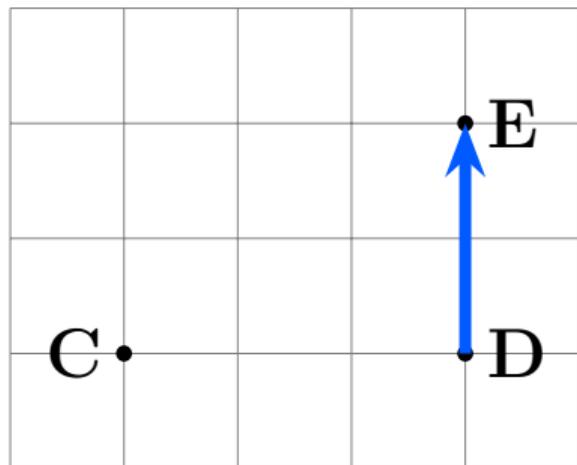
を \vec{EC} と書きます。

ベクトルとは



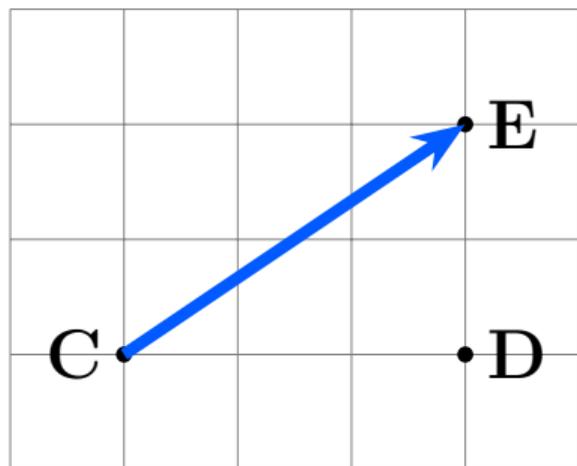
$$|\overrightarrow{CD}| = 3 \text{ です。}$$

ベクトルとは



$$|\overrightarrow{DE}| = 2 \text{ です。}$$

ベクトルとは



$$|\overrightarrow{CE}| = \sqrt{13} \text{ です。}$$

※ そのうち学習します

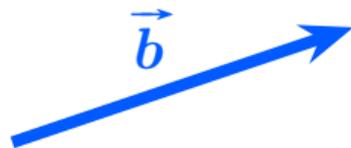
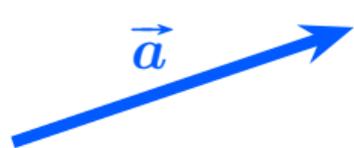
ベクトルとは



のように書くこともあります。

大きさ（長さ）は $|\vec{a}|$, $|\vec{b}|$ です。

ベクトルとは



のとき

(向きと大きさが同じとき) $\vec{a} = \vec{b}$ と書きます。

つまり始点の違いは無視します。

ベクトルとは



(向きが正反対で大きさが同じとき)

ベクトルとは



(向きが正反対で大きさが同じとき)

\vec{a} の逆ベクトルといい $-\vec{a}$ と書きます。